

総務省では、各種研修、外部との人事交流や留学など多様な経験を積む機会があり、職員のキャリア形成をサポートしています。

## 研修

採用時に新規採用者研修を行うほか、業務に関連した研修や希望者を対象とした専門研修など様々な研修があります。例えば、平成30年度は英・仏語の語学研修や情報通信政策研究所においてICTに関する各種研修、統計研究研修所において統計に関する各種研修を行いました。



国内外の大学等で、専門的または国際的な知見を高めつつ、総務省の行う政策等に資する研究を行います。



## 自己啓発

総務省では、本省と地方支分部局(管区行政評価局、総合通信局)に留まらず、外部機関等との人事交流も積極的に進めています。他省庁、自治体、海外機関等への出向を通じて、様々なもの見方や考え方を身につけるとともに、業務の提携・連携を深めています。



## 人事交流

### PICK UP

### 研修面から総務行政をサポート!

#### 総務省の研修

総務省は、かつての総務庁、自治省、郵政省が合併した省のため、その所掌分野も多岐に渡っていることから、新規採用職員研修には特に力を入れています。各部局の様々な業務の現状や課題について学び、どんな部署に配属されても対応していける下地作りを行うほか、ビジネスマナーや論理的な思考を養うための講義も、それぞれ丸1日かけてじっくり行います。

#### 総務行政の充実に向けて

専門的な業務が多い印象の総務省ですが、部局配属後も、情報システム、統計、外国語など様々なスキルを身につけるための研修が受講可能で、幅広い総務行政に対応できる研修メニューを用意しています。

総務省が充実した行政を展開できるかどうかは、皆さん一人一人にかかっていると思います。私も、研修メニューの一層の充実などで皆さんをサポートしていきますので、研修により皆さんの能力が一段と高まり、ますます総務省の行政が充実していくことを期待しています。



## 新規採用職員研修

総務省では、現在や将来の役職に相応しい知識や技能習得のため、様々な研修を実施しています。入省直後の新規採用職員研修では、各部局の業務の現状と課題を学ぶとともに、ビジネスマナーや論理的な思考能力を養う講義を通じ、国家公務員として相応しい知識と教養を身に付けていきます。



## 専門分野研修

幅広い総務省の行政分野に対応するため、各分野の専門的なスキルを身につけるための研修も豊富で、職員自身のニーズにあわせてスキルアップしていくことが可能です。

例えば、統計分野では、統計研究研修所を有し、統計の基礎知識から統計理論、統計分析まで幅広い研修課程を設けています。情報通信分野では、情報通信政策研究所にて、ICTの基礎知識を学ぶ総合研修、無線通信やサイバーセキュリティ等の特定テーマを学ぶ専門研修を受講することができます。



また、職員が自己学習できるよう、eラーニングやビデオ教材の活用にも取り組んでおり、業務が忙しい職員でも研修を受けやすい体制を整えています。

## 語学研修

総務省では、国際舞台で活躍する職員を育成するべく、英語やフランス語等の語学研修を毎年実施しています。日常の業務で外国人とやりとりがありコミュニケーションを円滑にしたい、国際会議に向けて勉強したい、海外留学に備えたい、将来に向けてスキルアップを図りたいなど、様々なニーズを持つ職員がこの研修を希望し、受講しています。



## 地方派遣

総務省における制度の企画・立案業務にあたっては、正しい日本の姿を捉え、地域の抱える課題の実情を正確に把握することが不可欠です。国家公務員でありながら地方の視点を持った人材を育てること、若手職員のうちに現場を学ぶことは、より良い制度を考える上でとても重要になります。

そのため、総務省では、地方自治体や管区行政評価局、総合通信局等への派遣を通じた人材育成を行っています。

先輩職員も、地方派遣を経て、日本の抱える課題の実情を肌で感じ、地域における多くの仲間を得て、その後の本省における制度設計等にこの経験を活かしています。

